

# 足立新田 「真剣勝負」



**エース**

**池田雄信**  
(2年)

最速130キロの伸びのあるストレートが武器の本格派右腕。スライダー、カット、スプリットなど多彩な変化球を駆使してゲームを組み立てていく。「真っ直ぐで押し込んで勝負所で三振が奪えるピッチャーになりたい」

**打撃陣**

**鈴木義大** 主将 (2年=三塁手)  
**古庄真郷** (2年=一塁手)  
**八幡光輝** (1年=右翼手)

鈴木義大主将がチーム打撃でチャンスを出し、4番・八幡光輝、5番・古庄真郷が得点に絡む。八幡、古庄はスケールの大きな打撃が魅力の強打者だ。

## 下町から甲子園へのチャレンジ 百戦錬磨の指揮官が率いるチーム

2006年夏に東東京大会ベスト4に進出した足立新田。1999年に城東を初甲子園に導いた名将・有馬信夫監督が率いるチームは、甲子園を狙って貪欲に勝利を追求していく。

■昨夏は修徳相手に激闘を演じる  
足立新田の選手たちは、都立の野球を知り尽くす百戦錬磨の指揮官の指導のもと甲子園を狙う。2006年夏には、エース秋吉亮(元ヤクルト、日本ハムなど)を擁して東東京大会ベスト4に進出した実績を持つ。戦力が限られている状況ながらも2023年夏には3回戦、2024年夏には4回戦へ進出。昨夏には初戦の2回戦で

修徳と対戦し、序盤に8失点する展開から執念の猛攻で8点を奪い返し同点に追いついてみせた。8対8で迎えた9回裏に犠飛で失点してサヨナラ負けとなったが、悔いのない戦いを実践した。修徳の7安打に対して、足立新田が放ったヒットは13本。私学強豪に負けぬ打力を誇示した。

■2年半のビジョンでの選手指導  
有馬監督は1999年に城東を指揮して、東京都立で初めて甲子園の舞台に立ったキャリアを持つ。2018年4月に足立新田に着任し8シーズンが経過した。コロナ禍を挟んで野球指導は大きく変わったが、いまどき世代の選手た

ちのスイッチを巧みに入れながら各大会へ臨んでいる。指揮官は「どんな選手でも、しっかりと教えていけば必ず成長していく。選手の変化を見逃すことなく、2年半のビジョンで指導していくことが大切だ」と語る。2024年度から有馬監督を支えている松崎陽介部長は、「有馬先生は良いチームではなく、勝つチームを追求している。夏までの時間から逆算して、甲子園に行ける可能性が少しでも高い選択をしている。勝負師だと思います」と話す。

■夏に照準を合わせて団結  
鈴木義大主将(2年=三塁手)を軸に、伸びのあるストレートを投げ込むエース池田雄信(2年)、鋭い打球を放つ古庄真郷(2年=一塁手)と、八幡光輝(1年=右翼手)らの打撃陣が揃う。秋予選は初戦で清瀬に勝利したが、予選決勝で杉並に1対5で屈して、都大会出場はならなかった。指揮官は夏に照準を合わせて、チー

ム、選手の伸びしろを図っていく。選手の力を融合させて、夏仕様のチームへ仕上げていく。「甲子園の可能性のある限り、それを追求していく」(有馬監督)。真剣勝負。下町から甲子園へのチャレンジは、選手の可能性を信じる戦いだ。

### 足立新田高校

【住所】東京都足立区新田2-10-16  
【創立】1979年 【甲子園歴】なし  
足立区新田の都立高。スポーツ部の活動が盛んで野球部のほか陸上競技部、バレーボール部、相撲部などが強豪。野球部は2006年夏にベスト4、2018年秋に都大会ベスト16。主なOBは秋吉亮(元ヤクルト、日本ハムなど)。

**主将のチーム分析**

**鈴木義大 主将**  
(2年=三塁手)

**打撃力を武器に戦っていく**

「今年の足立新田は、野球が好きな選手の集まりで、団結していくことのできるチームです。打撃力のあるチームですが、さらに投手力や守備力が高まっていけばバランスが整っていくと思います。一戦必勝で戦って甲子園を目指していきます」



足立新田・有馬信夫監督

### 1年後の選手の姿を想像する

「今年の選手たちは、ポテンシャルを秘めたチームだ。指導者として大事にしていることは、1年後の選手、チームをイメージすること。選手を信じて忍耐強く指導していくことで、必ず成長する。今年の夏にどんなプレーを見せてくれるか楽しみです」

1961年東京都生まれ。調布北一体育大。大学卒業後、軟洲工定時制で軟式を7年間指導。城東では1999年夏に東東京初回の甲子園出場。保谷、総合工科で指導し2018年4月から足立新田へ。甲子園を知る数少ない都立副将。